



安全だより

第25号
平成27年4月発行

公益社団法人
東大和市シルバー人材センター
安全管理委員会

平成27年度 安全管理活動実施計画

高齢者が組織的に働くことを通じて「健康」で元気に就業する事を側面から「安全」に対して手助けをし、基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、全員が協力し合い目標達成しましょう。

基本計画	実施計画	実施内容
安全管理委員会等開催	定例委員会の開催	4・6・8・10・12・2月の定例開催
	安全勉強会の開催	ヒヤリハット 危険予知訓練 等
	安全就業パトロールの実施	5・10・1月実施予定
	新規就業会員への安全指導	指導要領検討
	職群班の安全研修	研修内容検討
安全就業基準の遵守 その他基準等	安全だより発行(委員自主作成)	4・7・10・1月発行予定
	傷害・賠償事故 半期分層別結果(安全就業基準)	7・12・3月事故内容集計
	基準新設(安全帯・ヘルメット・三脚など)	基準検討及び実施
	安全保護具の点検	職群班への徹底
会員の健康維持・増進 安全講習会等	健康診断・インフルエンザ接種(65歳以上)受診の推進	平成26年度受診の調査 平成27年度受診の推進
	自転車講習会(道交法改正関係)	10月開催予定
	熱中症予防講習会	7月開催予定
	転倒予防(体力測定)講習会	2月開催予定
	応急救護訓練	12月開催予定
	安全意識の普及・啓発	安全標語の募集・選考
財団パトロール指摘事項対策		通年
安全関係会議・研修への参加		開催に合わせて

平成27年度 安全就業標語 東大和市優秀作品決定

7月の安全就業強化月間に向け、本年1月に募集した安全就業標語、全122作品の中から、厳正な選考の結果、次の作品が選ばれましたのでご紹介いたします。

テーマ1 「危険予知による事故防止」 (都内の統一テーマ)

最優秀賞

慣れた作業にも 危険は潜む 油断大敵 心の緩み

桜が丘A班 星田 進 さん

優秀賞

ヒヤリした、ハツとした経験忘れずに 今日に活して事故防止

狭山A班 小池 嘉則 さん

石橋も 叩いて渡る 心がけ

桜が丘C班 佐久間 浩之 さん

テーマ2 「自転車による事故防止」(当センター独自のテーマ)

最優秀賞

自転車も 車と同じ 左側

桜が丘A班 小川 信彦 さん

優秀賞

乗る前に携帯電話OFFにして 片手運転やめましょう

蔵敷B班 立石 孝義 さん

人を守る 優しい心が 身を守る

桜が丘C班 佐久間 浩之 さん

ご応募いただきました会員の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。入選した6作品は「東京しごと財団」に推薦いたします。また、最優秀賞は垂れ幕にしてセンター内に掲示し、安全就業の啓発に活用いたします。

平成26年度

「応急救護訓練」

平成27年2月24日（火）午前10時から向原市民センター集会室にて応急救護訓練が行われました。講師には、東京消防庁北多摩西部消防署の橋本雅昭様をお招きし、開催の運びとなりました。当日出席者は48名で予定を上回る人数が集まりました。



まず初めに「心肺蘇生法」の手順を教えてくださいました。①肩を叩きながら声をかける②反応がなかったら、大声で助けを求め119番通報と、AEDの搬送を依頼。③呼吸を確認する。普通どおりの呼吸がなかったら、胸骨圧迫を30回行う。④胸骨圧迫の後、人工呼吸を2回行う。口対口の人工呼吸がためられる場合、感染のある場合は、人工呼吸は行わず胸骨圧迫を行う。

次に、AEDの講習を受けました。①AEDが到着したら、電源を入れる。②電気パッドを胸に張る。③電気ショックの判断はAEDが判断をする。④ショックボタンを押す。⑤後はAEDの音声メッセージの指示に従う。AEDを初めて見る方もいらっしゃるようで最初は戸惑いながらも、講師の方から丁寧に教えていただきました。



今回の「応急救護訓練」は施設管理をしている会員を中心として実施しました。災害などで人が倒れていた場合、自分はどうすればいいのかわからない、AEDは置いてあるものの、使用の仕方がわからないなどの疑問が解消された訓練だったと思います。非常のときはパニックになりがちです。落ち着いて対応しましょう。

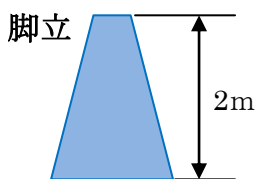
死亡事故が4件発生！

●平成26年度（都内シルバー人材センター）死亡事故内訳●

月	事故形態	発生時間	事故内容
7	交通事故 (道路上)	6時44分	青信号で横断歩道を通行中、対面方向から右折してきた車両（乗用車）が、会員に衝突した。 車両は、赤信号で先頭に停車、青信号となった途端に発信し、右折の際に会員に気付かず衝突、さらにブレーキとアクセルを踏み間違え、会員を車両下に巻き込みながら進み、ガードレールに乗り上げた。
10	墜落事故	8時10分	高さ5mの位置で剪定中、横枝の分岐部に足を掛け先端を剪定しようとした。老木に気付かず足を掛けたため、枝が折れ、頭部から落下し、外壁フェンスに激突したのち、地上に落下した。（ 安全带未着用 ）
1	交通事故 (道路上)	17時20分 (薄暮)	発注者事務所へ就業報告のため、見通しの良い都道を柵を乗り越え、信号機のない場所を横断中に、左方向から来たバイクにはねられた。
2	交通事故 (道路上)	12時30分	雨天のため、雨合羽を着用し、フードをかぶった状態で自転車に乗り帰宅中。交差点を青信号で横断中に、前方から右折してきた2tトラックと衝突。

【植木剪定】

怪我をしてからでは遅い



高所作業時の安全帯着用は2m以上が基準となっています。（東京しごと財団では1.5m以上）
※「決められた事は守る」を常に意識して就業をお願いいたします。

【交通事故】

青信号だからといって、すぐに横断するのは危険です。
高齢者の交通事故による死者数は65人で、都内の交通事故による死者数172人の37.8%が高齢者との事です。

交差点での事故防止として

- ①運転手はこちらに気づいていないものと認識する。
- ②運転手と目を合わせ（アイコンタクト）を取ってから横断する。
- ③交差点では、「右・左・右」の確認を忘れず、車が停車してから横断する。
- ④「知っている」ではなく、「実践する」を心掛ける。

事故に遭わないためにも、今一度の確認をお願いいたします。